

目 次

序 章 策定に当たって

1	策定の趣旨	2
2	プランの位置付け	3
3	プランの計画期間	4
4	プランの対象	4
5	プラン策定の考え方	4
6	子供・若者の意見の尊重	5
7	社会全体でのプランの推進	5
8	プランのマネジメント	5
9	プランの構成	6

第一章 総論

1	特に考慮が必要な社会情勢等の変化	
	(1) 本県を取り巻く現状	7
	(2) 子供と子育て家庭を取り巻く現状	10
	(3) 特に支援が必要な子供たちの現状	17
	(4) 子供の生活実態調査により把握した現状	21
2	特に注力する分野等	26
3	将来にわたって目指す社会像と目指す姿	28
4	モニタリング指標	29

第二章 施策の柱と取組の方向

◆	プランの施策体系	30
領域Ⅰ	子供たちの資質・能力の育成	31
柱1	乳幼児期の質の高い教育・保育の推進	32
柱2	社会で活躍するために必要な資質・能力の育成	35
領域Ⅱ	安心して子供を持つことができ、子供たちが健やかに育つ環境づくり	48
柱1	就労・結婚・妊娠・出産の希望の実現を後押しする環境の整備	49
柱2	妊娠期からの見守り・支援の充実	56
柱3	子供の悩みに対する支援・居場所の充実	63
柱4	多様なライフスタイルに応じた子育て環境の整備	75
柱5	子供と子育てにやさしい生活環境と安全の確保	82
領域Ⅲ	配慮が必要な子供たちとその家族への支援	94
柱1	児童虐待防止対策の充実	95
柱2	社会的養育の充実・強化	101
柱3	ひとり親家庭の自立支援の推進	108
柱4	障害のある子供等への支援	114

資料編

◆	プランに位置づける計画等	123
1	指標一覧	157
2	プラン策定に係る検討経緯	183
3	用語解説	186

▶ 用語解説について

序章、第一章、第二章の文章中、右肩に「*」印を付した用語等については、解説を資料編の186～196ページに掲載しています。（一部「*」印を付していない用語等についても、解説を掲載しています。）